

2019 FIM SUPERBIKE WORLD CHAMPIONSHIP World Supersport Round 3 Motocard Aragón Round Race Report

3列目9番グリットよりスタートの大久保光。 MotorLand Aragónを8位チェッカーで終える。

スーパーバイク世界選手権 (WorldSBK) Round 3 Motocard Aragón Roundの決勝を本日迎える。ヨーロッパラウンド今季初開催となる今大会、ウィークを通して気温が上がらず日曜のWSSPクラスウォームアップの時点で気温 8 度、路面温度11度と肌寒い気温の中、スケジュールがスタート。3列目、9番グリットから決勝を戦う大久保は、昨日ソフトタイヤを選択していたが、決勝ではハードタイヤをチョイス。また、昨日発生した問題点の対策も施し、全力で表彰台を目指す。

決勝はドライ、気温12度・路面温度21度の中、現地時間12時15分WSSPクラス決勝がスタート。大久保は絶妙なスタートを決め、6番手へ浮上。TOP2台が先行し、それを追いかける形で前半戦が展開される。徐々に各集団が形成されはじめ、大久保はチームメイトを含んだ第三グループで6番手を争う。終始エキサイティングな接近戦が展開されるが、中々前をパスする事が出来ないまま後半戦に突入。大久保は少し下がった位置から前を抜くタイミングを探り続け、最終ラップで一台をパス。そして前方のチームメイトを攻略すべく果敢に挑んだが、ベテランのテクニックの前にコンマ1秒届かず、惜しくも8位でチェッカーを受けた。

大久保はここまで着実にポイントを積み重ね、現時点では28ポイントを獲得。Championship Standingsでは5位となり、依然KAWASAKI勢トップの位置を守る。次戦は来週末とハードなスケジュールが続くが、手を緩めることなくライダー、メカニック、チーム一丸となって更なる高みを目指す。

■大久保 光

「今回のレースは非常に苦しかったです。今日は路面温度が低かったのですがハードタイヤを選択し、決勝に挑みました。接近戦が多かったアラゴンですが、自分のラインをキープ出来ている時は問題無かったのですが、バトルになりラインを外した時のグリップを引き出す事が出来ず、オーバーテイクに繋ぐ事が出来ませんでした。また、昨日の予選ではソフトタイヤを上手く使えず、結果的にタイムへ繋げる事が出来ませんでした。これまでのレースを振り返り、気温が低いコンディションでのグリップを引き出す事に課題を感じました。色々なレースを経験する事で自身の課題がハッキリしてきていますので、しっかりと対策して少しでも順位を上げていきたいと思います。

また、今回、最後の最後にチームメイトを抜けなかった事が非常に悔しいです。ベテランの走りを見せつけられました。素直にMAHIAS選手をリスペクトしたいです。

来週もレースと連戦が続きますが、まずは表彰台を狙ってこれからも戦います。引き続き皆様の応援、宜しくお願い致します。」



Kawasaki Puccetti Racing

Website / <http://www.puccettiracing.it/wordpress/>



Kawasaki Puccetti Racing



PuccettiRacing



puccettiracing

Hikari Okubo Official Account

Website / <http://www.hikariokubo78.com/>



hikariokubo78



hikari_No78



hikariokubo78